

チャイルドブック活用ガイド

えほん&ほいく

5
2021



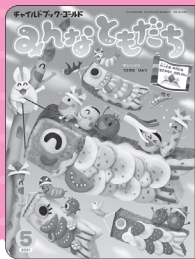
全員！ポストカードプレゼント！

左記のQRコードからアンケートにお答えいただくと
ポストカード2枚セットをプレゼントいたします！
(応募締め切り 2021年6月30日)

活用のヒントを**動画**で紹介！

総合保育絵本の読み方、使い方の
ポイントをぜひご覧ください。





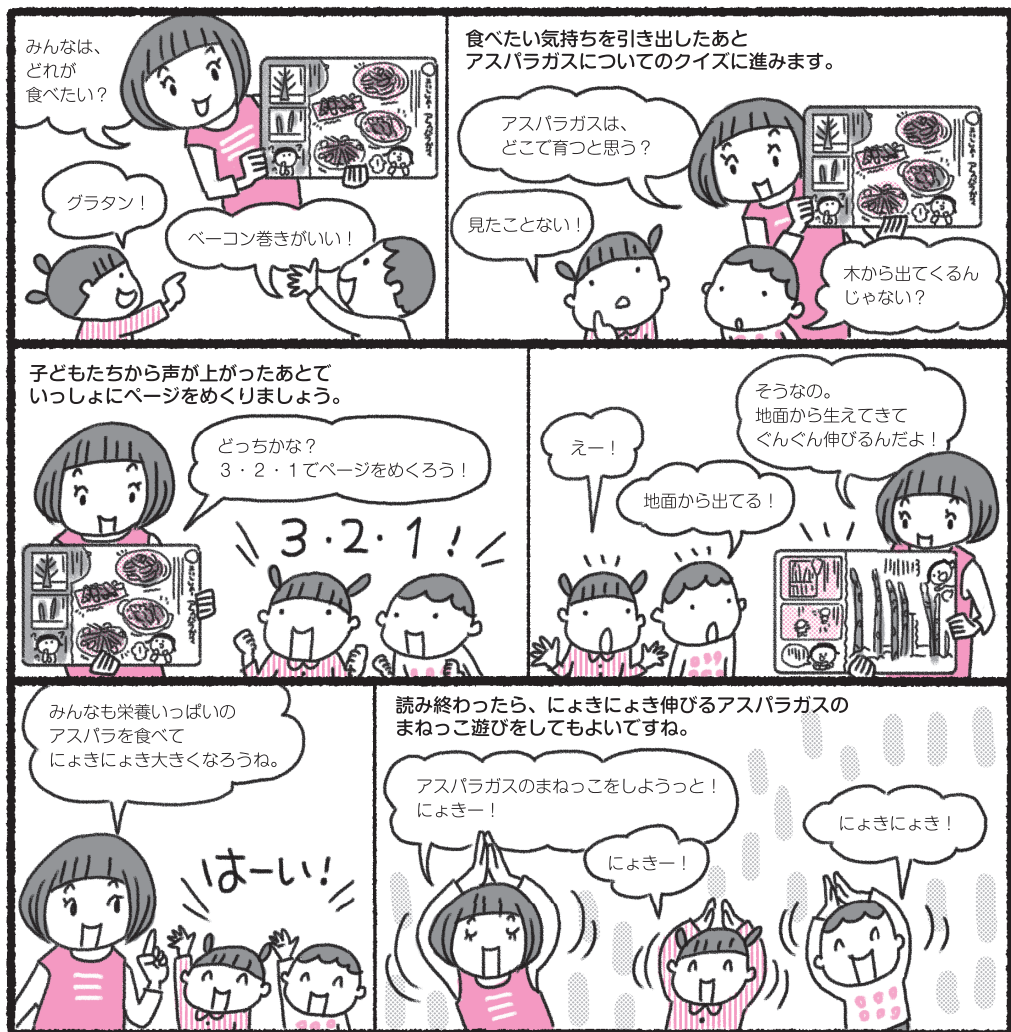
チャイルドブック・ゴールド

みんなともだち

指導／柴宮佑介
(Kids Island うちがしま)

たべたいな！ 知りたいな！ 食育
(13～16 ページ)

おいしいよ！ アスパラガス



● 緑色の野菜は見た目だけで苦手意識をもっていたり、食べ慣れていなかったりすることが多いかもしれません。絵本をきっかけに食べたい気持ちを引き出せるとよいですね。同じように根がつながっているたけのこについて話題を広げてもよいでしょう。

みんなで よもう！
(23～34 ページ)

どうしてかなあ？ おかあさん

読む
まえに

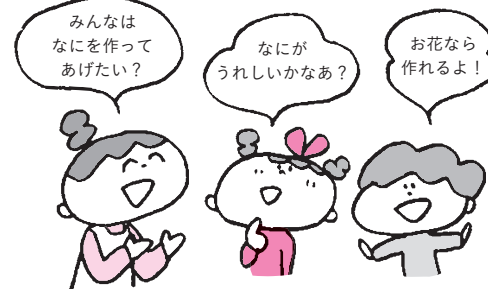
おうちの人との楽しい出来事を思い返してみましょう。



「みんなは、おうちの人のこと好き？」と声をかけると、「好き」という答えがほとんどだと思います。読み始めるまえにおうちの人との楽しい出来事を思い返してみましょう。「いっしょになにをして遊ぶのが好き？」「お誕生会どうだった？」などと投げかけると思い返しやすはずです。おうちの人のことを思いながら、お話に聞き入ることができるとういすね。

読んだ
あとに

プレゼントを作ってみましょう。



お話を聞いたあと、子どもたちはおうちの人にプレゼントを作りたい、喜んでもらいたいという気持ちをもつはず。『みんなもおうちの人にプレゼントする？』と問いかけてみてください。プレゼントを考える時間も楽しみのひとつです。子どもたちの発想を大切に、自由なプレゼントを製作できればよいですが、難しい場合は、「似顔絵を描く」「折り紙で花を作る」など選択肢を用意してサポートしてあげてください。

カーネーションの作り方

用意するもの

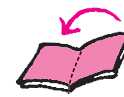
- ・折り紙 (赤・緑)
- ・はさみ
- ※ピンキングはさみを使うときれいに仕上がります。
- ・のり

----- 谷折り
----- 山折り

①赤色の折り紙を
半分に折ります。



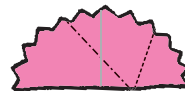
②さらに半分に折ります。



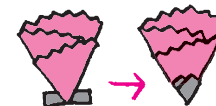
③開いている方をはさみで
ギザギザに切ります。



④②で半分に折った部分を
開き、図のように折り直し
ます。



⑤小さく切った緑色の折り紙を
巻きつけて、のりてとめたら
できあがり。



⑥カードに貼ってもよいですし
緑色の折り紙で茎を作って
貼ってもよいです。



▶ チャイルド本社のホームページに「みんなともだち」活用のヒントを動画で紹介しています。

チャイルド本社

検索

※ 表紙のQRコードからもアクセスできます。

指導計画の週案・日案文例は17ページへ



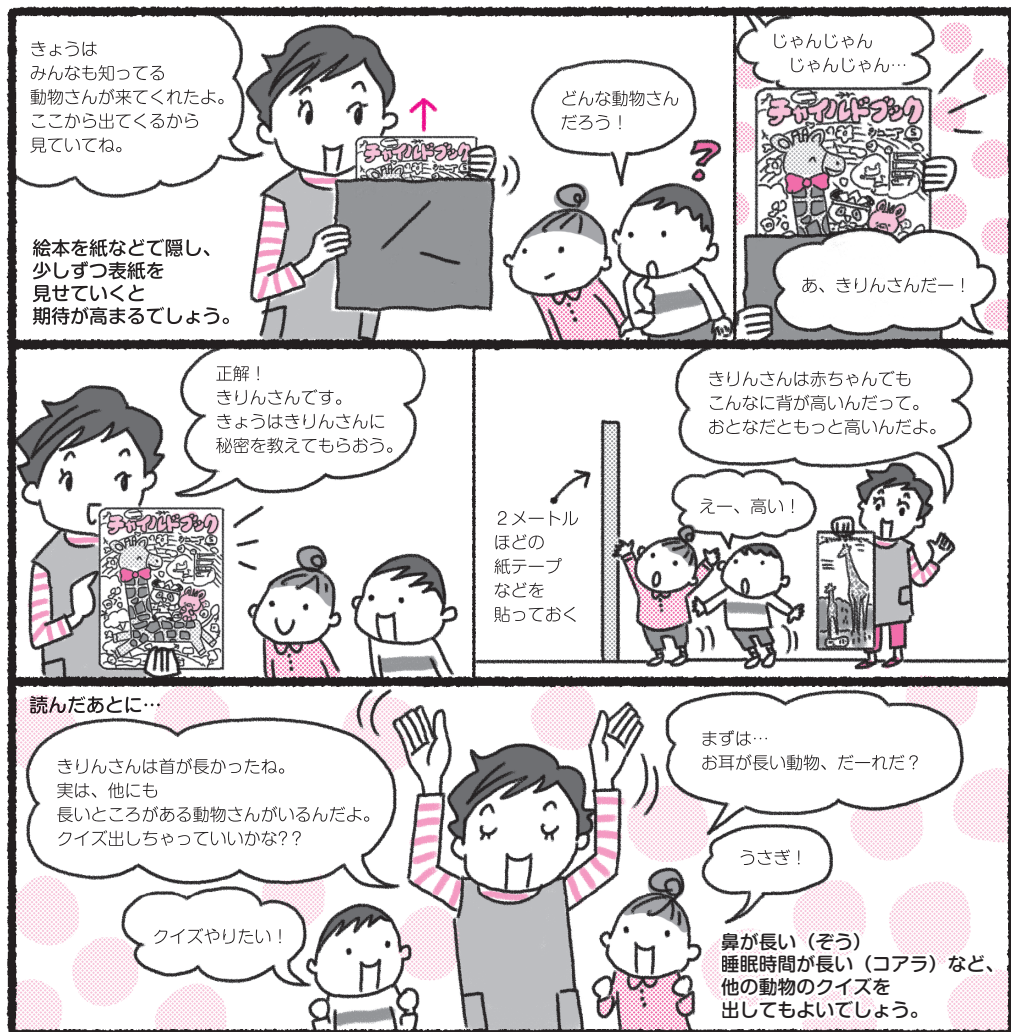
チャイルドブック

ジュニア

指導／水野絵里
（「はいくえん」研究会）

どうぶつ
（2～7ページ）

きりんのながいくび



きりんが長い首をどのように使っているのか、子どもたちに考えてもらってもよいですね。眠るときは？ 水を飲むときは？ などと問いかけてから、その場面の写真を見せると、きりんについてより興味がわくでしょう。

せいかつ
（20～26ページ）

てを あらおう！

読む
まえに

手洗いに関心がもてるよう、問いかけてみましょう。

「外から帰ってきたら、手を洗うよね。なんで手を洗わないといけないんだと思う？」と問いかけてみましょう。「手が汚れてるから」などさまざまな答えが出ると思いますが、一つひとつ受け止めてあげてください。手を清潔にする必要性に、関心がもてるようにしましょう。

読む
ときに

楽しみながら、手洗いに興味をもてる工夫を。



「手のどここの部分が汚れていると思う？」と伝え、いっしょに考えられる工夫をしてもよいでしょう。例えば、大きく描いた手のイラストを用意し、ばい菌がいそうな所にシールを貼ってもらうのも一案です。シールで楽しみながらなので、より興味ももてるでしょう。最後は「ていねいに洗うと、手についたばい菌が 退治できるんだよ」と言って、26ページの手洗いの仕方をいっしょにまねしてみましょう。

読んだ
あとに

手踊り人形を使い、楽しく取り組みましょう。



自分も周りの人も健康に過ごせるよう、手洗いをしっかり行うことを繰り返し伝えましょう。ていねいな手洗いの仕方が身についたら、みかんちゃんのように好きな歌をうたいながらの手洗いに挑戦してもよいですね。また、手洗い場の近くにみかんちゃんの手踊り人形を置いておき、上手にできたことを知らせるようになると楽しく取り組みますね。

▶ チャイルド本社のホームページに「ジュニア」活用のヒントを動画で紹介しています。

チャイルド本社

検索

※ 表紙のQRコードからもアクセスできます。

指導計画の週案・日案文例は18ページへ



チャイルドブック



指導／瀬川未佳
（「はいくえほん」研究会）

せいかつ
（20～28 ページ）

てを あらうよ



- 感染症対策として、手洗いはとても大切です。子どもたちにしっかり伝えたいですね。みいちゃんたちが袖をまくっていることや、全員そろってから、「いただきます」をしていることなどに気づくように声かけしてもよいでしょう。

うたの えほん
（12～15 ページ）

あなたの おなまえは

読む
ときに

13ページを少しずらして、興味を引きつけましょう。



13ページの後ろに隠れている誰かを当てっこするときは、13ページを少しずらして、ぎゃくくんがちらりと見えるようにするとよいでしょう。声が上がりがやすくなり、興味も引きつけられます。

読んだ
あとに

友達の名前や物の名前であたってみましょう。



「♪あなたのお名前は?」とうたい、友達に名前を聞いてみましょう。みんなで友達の名前を確認することで、友達を意識するきっかけになります。うたうときは、子どもたちにまえに出てきてもらって、自分の名前を言ってもらうのもよいでしょう。また、部屋にある物を机の上に集めて置いておき、歌に合わせてクイズのように当てっこをしても楽しめるでしょう。

▶ チャイルド本社のホームページに「ぶう」活用のヒントを動画で紹介しています。

チャイルド本社 検索

※ 表紙のQRコードからもアクセスできます。

指導計画の週案・日案文例は19ページへ



サンチャイルド ビッグサイエンス

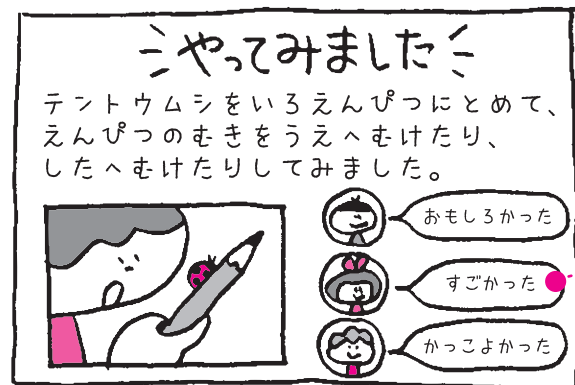
『あそぼう! はるの いきもの』

指導/瀬川未佳
(「はいえほん」研究会)

保育で絵本を楽しむコツ

今月は身近な生き物と楽しく触れ合えるアイデアのつまった一冊です。試してみると、子どもたちはきっと感動し、興奮するでしょう。その子どもたち自身の感動を伝える機会を作ってみてはいかがでしょうか。活動や会話が広がってより深く楽しめると思います。

ポスターをつくらう。

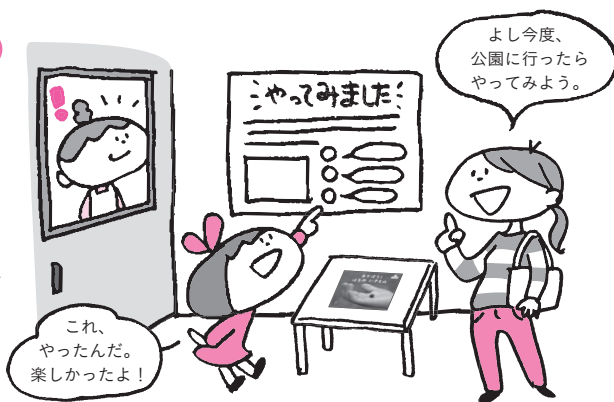


絵本の中で紹介されている活動をクラスで
やってみましょう。
そのときに写真を撮っておき、それを使っ
てこんなポスターを作ってみましょう。

子どもたちの
感想を
書きます。

ポスターから会話を広げよう

保護者や他のクラスの子も見られるように、
作ったポスターを保育室の外などに貼り出
しましょう。そばに絵本も置きましょう。
子ども自身が感想を話す機会が生まれるよ
うに、保護者や、他のクラスの保育者にも
掲示してあることを伝えておくといで
しょう。



6月号の
お知らせ

『じゃがいも できた』子どもたちが大好きなじゃがいもがどんなふうに見えるのか、畑の土の中をのぞいてみましょう。子どもたちといっしょにチャレンジできるクッキングも紹介します。

作者インタビュー



深山さくら先生

チャイルドブックアップル5月号
『ちいさなバスのちっぷー』
作/深山さくら 絵/田中四郎



お話の着想のきっかけについて教えてください。

わたしはバスに乗って出かけるのが大好きです。
お気に入りの席は、一番後ろのちょっと高くなっ
ている席。加えて、端っここの席が空いていたら、
迷わずそこへ座ります。以前住んでいた町で、コ
ミュニティーバスという、地域を走るちっちゃい
バスを見かけたことがあって、かわいいバスだな
あ、どこに行くのかなあ? バス好きのわたしで
す。乗らずにいられるはずがない! ワクワクしな
がらバス停で待っていたら、来ました来ました、
ブッパー! 細い路地もなんのその。小さな四つ角
も上手に曲がって、バスは走る走る! そうこうし
ているうちに、わき上がってきたお話です。

小さくて
かわいらしい
ちっぷーは、
お話のイメージと
ぴったり!



P.4-5

春のお話ですが、春という季節はお好きですか?
はい、春は大好きです。雪国に生まれたせい
でしょうか。春になって草木が萌え出し、山々が明
るい色に染まってくると、ほっぺたが緩んで、つ
いつい「ほほほ」と、笑ってしまいます。

お話の見所、ここに注目してほしいという場面が
あれば教えてください。

ちっぷーが坂道を登るところでしょうか。ちっ
ぷーのちっちゃなタイヤがくるくるくる回っ
て、誰かの笑い声が聞こえてくるシーン。笑い声
はだんだん大きくなって……。誰が笑っているん
だろ? という思案顔のお客さんの表情にも、注目
してみてください。しかけを開くと、楽しい答え
が待っていますよ!

ここにご注目!



P.20-23 お山の口になっているのは、なんとお花の群生!
絵を担当してくださった田中先生の遊び心あふれる表現です。

お話作りで大切にしていることについて教えてく
ださい。

「声を出して読んでもらえたら、いいな。楽しん
でもらえたら、いいな」そう思いながら、登場人
物になったつもりで話を作っています。わたし
がお山だったら、どう笑うかな? わたしがちっ
ぷーだったら、どう走るかな? とかね。そんな
ことを想像しながら作っています。そして、お話
ができあがったら、次は音読です。自分で声に出
して読んでみて、言葉のリズムはいいか、テンポ
はいいかを確認するようにしています。

最後に、読者の子どもたちや先生方へのメッセー
ジをお願いいたします。

季節のことは辞典をめくっていたら、「山笑う」
という言葉が発見。山って笑うの? 不思議に
思って読んでみると、「春がきて、草木が萌え始
めた、のどかで明るい山の様子」とあります。な
んともすてきな言葉です。気持ちのよい春の訪れ
を、みんなで楽しんでいただけたら、とてもうれ
しいです。

深山さくら (みやま・さくら)

山形県生まれ。『かえるのじいさまとあめんぼおはな』(教育画
劇)で第19回ひろすけ童話賞受賞。作品に『でんしゃとしゃかん』
『大好き! おじさん文庫』(以上、文研出版)、『ぼくのつばめ絵
日記』(フレーベル館)、『こすずめとゆき』、『かしのじいさん』
(以上、佼成出版社)など多数ある。日本児童文芸家協会理
事。山形に「ものがたり工房」をかまえ、東京との二拠点で活動
中。子どもたちの心に、ほのぼののいろの花を咲かせたい。
公式サイト <https://miyamasakura.com>

読み聞かせ ワンポイント アドバイス



徳永 満理
(とくなが・まり)

福岡県出身。子どもの発達をふまえていねいな保育のなかで50年読み聞かせの
実践を重ねる。社会福祉法人おさなご保育園園長を経て、現在は同園の理事長。
元兵庫大学専任助講師、あかし保育絵本士養成講座講師、兵庫子どもと絵本の会
顧問。著書に『絵本と子どもが会ったら』（鈴木出版）、『絵本でひろがる子
どものえがお』（高山智津子氏と共著）『よくわかる0～5歳児の絵本読み聞かせ』（以上、チャイルド本社）、『赤ちゃんにどんな絵本を読もうかな』（かもがわ
出版）、絵本に『はるちゃんのぼんぼりぼうし』（ひさかたチャイルド）、『ゆう
ちゃんシリーズ』9冊（アリス館）などがある。



もこちゃんチャイルド

とんだよ とんだ

作・絵／礒みゆき

まず、タイトルに心惹かれます。なにが飛んだ
のかなと、子どもたちといっしょに考えてみま
しょう。2歳児さんなら、「飛行機」「鳥さん」な
ど答えてくれるかもしれません。想像を膨らま
せてから読み始めましょう。

最初に登場するのはきれいなちょうちょうさん。
ひらりひらりと軽やかに飛ぶまねをして読みま
しょう。0・1歳児さんには「ちょうちょう」の歌
をうたってあげましょう。次はみつばちさん。
「みて みて」の言葉に合わせて、はちさんを指さ
して視線を引きつけ、「ブンブンブン はちが
とぶ…」と、歌をうたってあげましょう。こうも
りさんは「パタパタ パタタッ」と大胆に飛ぶまね
をしながら読みましょう。ことりさんの場面も、

「ことりのうた」をうたってあげましょう。

読み終わったら、ちょうちょうや小鳥になり
きって飛ぶまねっこをして遊んだり、春の戸外に
生き物たちを探しに行ったりしてみましょう。



チャイルドブックアップル

ちいさな バスの ちっぷー

作／深山さくら 絵／田中四郎

ちいさなバスのちっぷーは、力持ちでいつも笑
顔がいっぱい。そんなちっぷーといっしょに“おや
まひろば”へ出発です。明るく元気に読みましょう。
表紙や始まりの画面の絵もゆっくり見せてあげて
ください。「おやまひろばってどんなところか
な？」などと、子どもたちといっしょに想像を膨ら
ませましょう。

最初のバス停“たんぼぼのはら”で待っていたのは
笑顔がいっぱいのうさぎさんたち。ワクワク感を
込めましょう。“もりのいりぐち”で待っていたのは
りすさん家族。“ぼこぼこのはら”ではくまさん親子。
お客さんが乗り込むたびに笑いが弾け、おやまも
笑って、楽しさ満点です。迫力満点のしかけ場面
では、おやまが笑っている様子を臨場感たっぷり

に見せてあげましょう。

読み終わったら、バス遠足ごっこをして遊んで
もよいですね。



おはなしチャイルド

あっちゃんと ふくちゃん

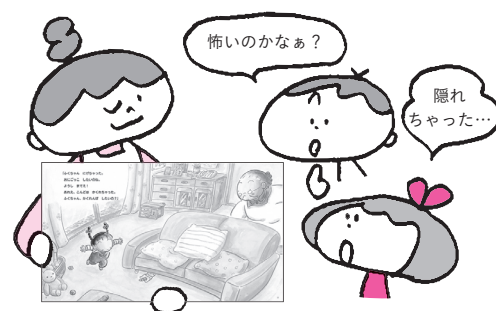
作・絵／大西ひろみ

動物好きの子どもたちが喜んでくれそうなお話
です。表紙を開いたページからお話が始まってい
ます。絵をよく見せながら、お話の世界に誘いま
しょう。

ずっと飼いたかった猫が家にやって来ることに
なったあっちゃん一家。家族の喜んでいる様子を
明るく、弾むように読んで伝えましょう。子猫が
やって来た日、あっちゃんは喜び余ってしっぽを
つかんでしまい、子猫はソファの下に潜り込ん
でしまいます。「ふくちゃん」と名づけた子猫と
仲よくなりたくて、あの手この手でふくちゃんを
誘うあっちゃんがかわいいです。あっちゃんの気
持ちになって、メリハリをつけて読みましょう。
その様子を見ていたおばあちゃんの助言が心に響

きます。あっちゃんの気づきの場面はゆっくり、
たっぷり見せてあげましょう。

読み終わったら、あっちゃんとふくちゃんの気
持ちについて、自分と友達との関わりの経験も交
えて話し合ってみましょう。





おはなしチャイルド リクエストシリーズ

まめくまくん

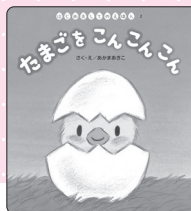
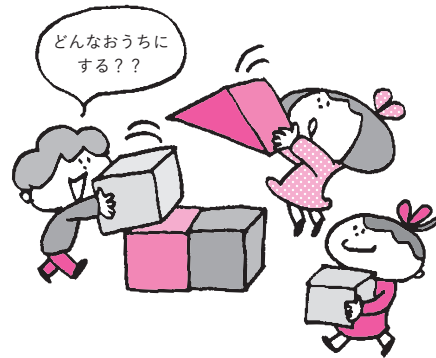
作・絵／いでりこ

春らんまんの季節にぴったりのお話です。キャベツ畑とまめくまくん、大きな木とまめくまくんというように大きさの対比で描かれていく場面展開にワクワクします。絵をたっぷり見せながら読んであげましょう。

まめくまくんの家探しの始まりです。自分で家を探しますが、なかなかぴったりの家は見つかりません。がっかりしながら諦めないまめくまくんを勇気づけるよう、明るく元気に読みましょう。最後にたどり着いたのは、はつかねずみの不動産屋さんが予約してくれていた家でした。すてきな家の中をはつかねずみのおばさんの案内に従いながら、ゆっくりたっぷり見せてあげましょう。そして、すてきな家が見つかったまめくまくんの気持ち

ちになってみんなで喜びあいましょう。

読み終わったら、大型積み木などで自分たちの家を作って遊んでもよいですね。



はじめてのえほん

たまごをこんこん

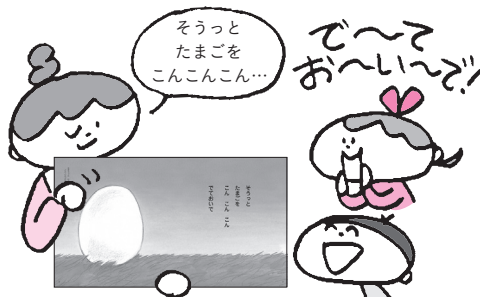
作・絵／あかまきこ

割れたたまごの中から顔を出しているかわいいひよこちゃん。ページを早くめくって見せてあげたくなる表紙です。たまごのてっぺんを「こんこん」と叩くふりをして見せながら、タイトルを読みましょう。

ワクワクしながらページをめくると、草原の上に大きなたまごが…。「そうっと たまごを こんこん でておいで」のフレーズに合わせて優しくたまごを叩いてから、しかけ場面を開きます。「ぱかっと われて ひよこちゃん」を明るく、弾むように読みましょう。同じようにへびちゃん、かめちゃんの場面も喜ばせてあげましょう。「ぴよぴよ」「によろよろ」「のこのこのこ」と、それぞれの動物を指さしながら、視線を引き寄せる

ように読みます。最後は「いいこ いいこ」の言葉に気持ちを込めて、ひよこちゃんたちの頭をなでてあげましょう。

読み終わったら、子どもたち一人ひとりの頭もなでてあげましょう。



チャイルドブックアップル 傑作選

せかいいち おいしい レストラン

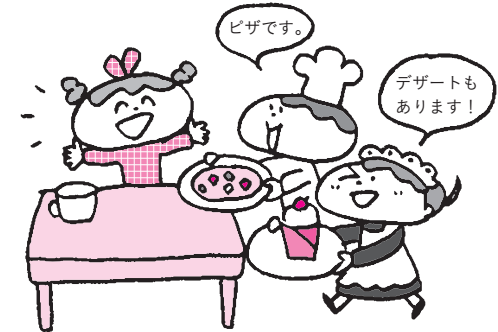
作・絵／あんびるやすこ

レストランから招待状が届いたうさぎさんたちが、世界一おいしいレストランを探しに出かけます。どんなレストランなんだろう？ と、ワクワクドキドキの始まりです。おいしそうな料理の数々に、子どもたちからは「食べたーい」と声が上がることでしょう。存分に食べるまねっこを楽しみましょう。しかけページは間を持たせながらめくり、場面の展開を楽しませてあげてください。

最初のレストランは、うさぎさんの大好きなにんじん料理、次はあおむしくんの好きな葉っぱの料理という展開に、子どもたちははりすくんのごちそうはなにか？ と想像することでしょう。絵をゆっくり見せてあげましょう。最後の場面は圧巻です。大きな木の根っこからてっぺんまで、い

ろいろな生き物たちのレストランが勢ぞろいしています。一つひとつのお店の料理を味わいましょう。

読み終わったら、レストランごっこをして遊んでも楽しいですね。



みんなで よもう！ 日本の昔話

したきり すずめ

文／木暮正夫
絵／遠藤てるよ

すずめをかわいがる心優しいおじいさんと、怒ってすずめの舌を切ってしまうおばあさんの性格の違いがよく伝わってくる絵です。お話もメリハリをつけ、対比に気づくように読みましょう。

ちゃんを探しに出かけたおじいさんは、居場所を教えもらうために汚れた水を七杯も飲むことに。子どもたちは「きたなーい」とおもしろがるでしょうが、ちゃんに会いたいおじいさんの気持ちを込めながら読みましょう。お宿にたどり着いたおじいさんは、ごちそうや踊りで歓待され、つづらをもらいます。「つづらってなに？」と問いかける子どもがいても、「読み終わってからね」と読み進めましょう。そのあと、宝物を目当てにすずめのお宿へ出かけて行ったおばあさんの展開が

昔話ならではの爽快さです。つづらから出てくる化け物たちに子どもたちはおもしろがるでしょう。

読み終わったら、巻末コラムも参考につづらの説明をしてあげてください。



かんばん

チャイルドブックがくしゅう版

週案例

- ・保育絵本のお話を活用して言葉の楽しさに触れる。
- ・保育絵本を活用して年下の子との関わり方を考える。

日案例

コーナー 5領域・10の姿との関連	ねらい・子どもの活動内容・保育者の援助等
自然 ▲♣■ ⑥⑦⑨	● さまざまな鳥を、羽の役割に着目しながら見ていくことで、生き物への興味を育てる。 ● 読んだあとで、図鑑や実物を見ながら友達や保育者と話し、このコーナーで紹介されなかった鳥にも興味を向ける。
お話 言葉遊び ▲■♠ ③⑤⑨⑩	● お話で、音や様子を表す言葉（オノマトペ）にたくさん触れることで、想像力や表現力を育てる。 ● 登場人物の表情から心情を考えるきっかけになるような言葉かけを保育者がしていく。 ● 主人公を自分に置き換え、助け合いの感動を保育のなかで感じ取る。
数・シール ♣■♠ ⑥⑧⑩	● シールを並べてこいのぼりの長さを測ることで、「いくつ分」という数の表し方や長さをくらべるための考え方に触れる。 ● 長さをくらべるためのシールの貼り方の重要性を、子どもたちが自ら発見できるように見守る。
身の回りの なぜなぜ ▲♣■ ⑤⑨	● 身の回りで見られる公衆電話をきっかけに、いろいろな電話への興味を深める。 ● 生活のなかでさまざまな電話を探したり、実際に触れたりして、共通点や違いを友達と言葉で伝え合う。
小学校へつながる 気持ち ▲♣■ ③④⑤⑨	● 年長になり年下の子どもへの意識が高まる時期に、小さい子への接し方について自分なりのやり方を考える。 ● 誌面の問いかけを自分のこととして考え、はるちゃんがなぜ滑り台を滑ることができたのか、ゆうくんの気持ちや行動から想像し、友達と話してみる。

5領域

♥ 健康
 ♣ 環境

▲ 人間関係
 ■ 言葉
 ♠ 表現

10の姿

① 健康な心と体
 ⑦ 自然との関わり・生命尊重

② 自立心
 ③ 協同性

※ここでは、月刊保育絵本を活用した指導計画の週案・日案の文例を提示しています。
あくまでも例ですので、それぞれの園の環境や園児の状況に合わせてお使いください。

チャイルドブック・ゴールド

週案例

- ・保育絵本でうさぎに興味をもち、身近な動物へ関心を広げる。
- ・保育絵本を活用して手洗いの大切さを再確認する。

日案例

コーナー 5領域・10の姿との関連	ねらい・子どもの活動内容・保育者の援助等
特集 ♣■♠ ⑥⑦⑩	● うさぎの体の特徴や接し方について知ることで、うさぎへの興味を広げる。 ● うさぎの特徴を知ったあとで、うさぎになりきったり、製作などに取り入れたりして、表現してみる。
シール ■♠ ⑥⑨⑩	● シールを貼ることで、うさぎといっしょに遊んでいる気分を味わう。 ● 特集ページを読んだあとに続けて遊び、うさぎを身近に感じながら、シールを使って動物をかわいがる優しさを育む。
食育 ♥♣■ ①⑥⑦⑨	● 春が旬の野菜である、アスパラガスの成長や栄養について知ることで、食べたい気持ちを高める。 ● 実際にアスパラガスやさまざまな野菜を準備し、見たり触ったり比較することでアスパラガスの特徴を知る。
生活 ♥▲■ ①②④⑨	● なぜ手洗いをするのか確認し、手洗いへの意欲を高める。 ● 手洗いの正しい方法を学び、感染症の予防に役立てる。 ● 友達同士で手洗いの仕方を確かめ合ったり、保育者がこまめに声かけをしたりして、実際に正しく手洗いができるようにする。
お話 ▲■♠ ⑤⑨⑩	● あっくんやお母さんの気持ちを想像しながら、物語を楽しむ。また母の日のプレゼント製作をするまえに読むことで、その意欲を高める。 ● 保育者が援助しながら、友達や家族に喜んでもらえることを考えてやってみることで、人に喜んでもらえたときのうのうれしさを共有する。

④ 道徳性・規範意識の芽生え

⑤ 社会生活との関わり
 ⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

⑥ 思考力の芽生え
 ⑨ 言葉による伝え合い

⑩ 豊かな感性と表現

※ここでは、月刊保育絵本を活用した指導計画の週案・日案の文例を提示しています。
あくまでも例ですので、それぞれの園の環境や園児の状況に合わせてお使いください。

文例執筆 / 山本秀子（帝京平成大学教授）

チャイルドブック ジュニア

日案例

週案例

- ・保育絵本を活用して野生の動物に興味をもつ。
- ・保育絵本を活用して手洗いの大切さを知る。

コーナー 5領域・10の姿との関連	ねらい・子どもの活動内容・保育者の援助等
どうぶつ ♣■♠ ⑥⑦⑨⑩	● きりんの生態を知ること、動物への興味を深める。また、自分ときりんの違うところや、同じところについても考えてみる。 ● きりんの特徴である「長い首」がどのくらい長いのかを、保育者が別の物（紙テープやひも、椅子を並べるなど）で表し、実際の長さを感じる。
シール ▲♣■♠ ③⑥⑦⑨⑩	● サファリパークに行ったつもりになって、シール貼りを楽しむ。貼り終わった本を友達と見せ合ったり、つなげて並べたりして遊ぶ。 ● 動物の名前や特徴を友達や保育者と会話をしながら、シール貼りを楽しむ。
お話 ▲■♠ ⑤⑨	● こいのぼりくんが活躍する姿を見て、こいのぼりに興味をもつ。「こどもの日」についても伝え、こいのぼりがその象徴であることを知る。 ● 保育者が言葉を添えることで、ことりのお母さんが我が子を心配する気持ちを、自分に置き換えて知る。
生活 ♥■ ①②④⑨	● 手洗いの大切さを確認するとともに、楽しみながら取り組んでみる。 ● ただ手を洗ったことに満足せずに、このコーナーを思い出して正しい手洗いを確認しながら行い、できたことをほめ、継続につなげる。 ● 付録の手洗いポスターを貼るなど、子どもたちが保育者の手を借りずに自ら楽しく手洗いができる環境を整える。
食育 ♥♣■ ①⑥⑦⑨	● どのじゃがいも料理が食べたいか考えて言ってみる。また畑でのじゃがいもの姿を知り、野菜の成長について関心をもつ。 ● 実際にじゃがいもを用意し、触ったり匂いを嗅いだりして、食材に興味・関心をもつ。

5領域

- ♥ 健康
- ♣ 環境
- ▲ 人間関係
- 言葉
- ♠ 表現

10の姿

- ① 健康な心と体
- ② 自立心
- ③ 協同性
- ④ 道徳性・規範意識の芽生え
- ⑤ 社会生活との関わり
- ⑥ 思考力の芽生え
- ⑦ 自然との関わり・生命尊重
- ⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- ⑨ 言葉による伝え合い
- ⑩ 豊かな感性と表現

チャイルドブックを活用するときの週案・日案文例



日案例

週案例

- ・保育絵本を活用して自分の名前や物の名前に関心をもつ。
- ・保育絵本を活用して手洗いを習慣化できるようにする。

コーナー 5領域・10の姿との関連	ねらい・子どもの活動内容・保育者の援助等
お話 ▲♣■♠ ⑤⑨	● 園庭の遊具たちの自己紹介を楽しく聞き、身の回りにある物の名前に興味をもつきっかけにする。 ● 遊具に名前があると知ること、自分や友達にも名前があることに気づく。 ● 遊具の名前を知るうちに、自分の名前を友達や保育者に伝えたい気持ちを自然と引き出す。
歌 ▲■♠ ⑤⑨	● お話と合わせて楽しみ、自分の名前を友達や保育者に伝えるうれしさを味わう。 ● 名前を伝え合うことで、仲間意識が深まる喜びを体験する。
環境 ▲■ ①⑨	● 動物に興味をもつとともに、親子の写真を見て身近な大人とふれあう喜びにつなげる。 ● 家族の優しさを保育者が伝えることで、家族の温もりを感じる。
シール ♣■♠ ⑥⑩	● もし本当にぞうが園にやって来たらどんなふうに遊びたいか想像を広げ、シールの子どもになりきって貼る。 ● シールはいろいろな場所に貼り直したり、動かしたりできることを伝え、ぞうと遊ぶイメージを広げる。
生活 ♥■ ①②④⑨	● みいちゃんのまねをしてみようと思うことで、手洗いを楽しみながら習慣化できるようにする。 ● 手洗いやうがいのできたことを保育者がほめることで、次への意欲につなげる。